

5. 政府が日本経済に果たす役割

(教科書)

第3章 日本の経済政策

第4章 財政の仕組みと機能

・政府は何をやっているのか？

古典的機能

() () () ()

社会保険制度 年金、医療、雇用など

社会资本整備

() () () ()

・どこまで政府がやる必要があるのか？

・資本主義と社会主義

アダム・スミス

「神の見えざる手」

「夜警国家」



マルクス

生産手段の私的所有を否定

経済計画

ソ連、東欧の社会主義の崩壊



・ケインズ経済学

1920年代の恐慌を教訓とした経済学

経済活動に対して政府の果たす役割は大きい 「大きな政府」

政府の活動する場を広げよう 準公共財

() () ()

・「小さな政府」への回帰

第一次オイルショック後、ケインズ経済学への疑問

推進した首相・大統領は？

イギリス ()

アメリカ ()

今もこの流れが続く

・政府の活動資金はどうやって調達されるのか？

<税制>

国や地方公共団体が、政府活動を維持するために徴収する

1 所得税 給料や利子などさまざまな所得にかかる

税率 () % から () % までの 4 段階

課税最低限 年間所得 () 万円

2 法人税 企業収益にかかる

法人税、事業税、住民税など企業収益にかかる税金を合わせた税率（実効税率）

約 () %

3 消費税 消費全般にかかる

税率 () %

<公債>

国の歳出が税金でまかなえなくなったとき、金融市場に公債を発行してお金を調達する。

借金なので、金利をつけて返さなければならない。

国債 ()

地方自治体の公債 ()

税金が足りない！ 不景気、少子化

どこを増やすか？

消費税を 10% にするという意見もある。

所得税と消費税の違い。

少子高齢化の社会保障制度への影響

年金制度

- ・老後に備えてお金を国で貯めておく制度。
- ・国民年金()
- ・厚生年金()
- ・共済年金()
- ・

